

勇猛果敢

前期を終えるにあたって



先日行われた秋季中体連壮行式では、各部の発表・応援・選手宣誓・全校円陣等、多くの生徒が精一杯取り組み、素晴らしい壮行式になりました。各競技でも、納得できる結果を残せた選手が多かったようです。この良い流れを、今週から始まった合唱練習につなげてほしいと思います。

さて、4月8日に始まった半年間の前期も今日で終了です。あっという間に時間が過ぎていった人も多いかもしれません。「前期で、あなたが成長したところを教えてください」と問われたとき、自信をもって答えられる時間を過ごせたでしょうか？ 2年生の前期が終わるということは、中学校生活3年間のちょうど半分の1年半が終わるということです。残された1年半でも、やらなくてはいけないことはたくさんあります。そこでの経験の積み重ねが、「進路決定」という中学校生活で避けては通れない大きな壁を乗り越えるために、必ず役に立つことになります。苦しいことを乗り越える経験、仲間と協力して物事をやり遂げる経験、同じ時間を仲間と過ごす経験等、中学校でなくては経験できないことがたくさんあります。まだまだ先と考えている人もいますが、みなさんが経験したように、時間はあっという間に過ぎます。中学校生活後半の1年半がより有意義な時間になるように、2学年が一丸となって頑張っていければと思っています。